

長野県みらい基金 信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム
助成申請書

公益財団法人
長野県みらい基金 理事長 様

応募日：2026 年 8 月 1 日

1. 団体の基本情報		
団体名	特定非営利活動法人 信州みらい教育プロジェクト	
代表者名 (役職)	信州 太郎 (役職：理事長)	
団体所在地	〒390-0874 長野県松本市大手 X-X-X 信州ビル X 階	Tel：0263-XX-XXXX
		Fax：0263-XX-XXXX
		E-mail：info@shinshu-mirai.org
担当者連絡先	未来 花子	Tel：090-XXXX-XXXX
		E-mail：hanako@shinshu-mirai.org

【作成アドバイス】
ここは基本的な情報なので、間違いなく、漏れなく記入しましょう。特に担当者連絡先は、問い合わせがあった際にすぐに対応できるよう、正確な情報を記載してください。

2. 事業の概要		
事業名	子どもたちの探究心を育む！信州の自然で遊ぶ「里山キッズ探検隊」	
スケジュール	寄付募集期間	2026 年 11 月 2 日～2027 年 1 月 31 日
	事業実施期間	2027 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日
助成申請額	500,000 円	
事業の種別 ※当てはまるものに印	☐ 学校以外で個々の子どもに応じた学びの実践 (フリースクール、インターナショナルスクール等) ☒ 長野県の豊かな自然環境や地域の様々な資源を最大限に活かし、子どもの個性を伸ばす学びの実践 (やまほいく(「信州型自然保育認定制度」実施要綱に基づき長野県が認定している園の設置者)、山村留学等)	

- 【作成アドバイス】
- **事業名：**具体的で活動内容がイメージしやすい名称をつけましょう。「南信州の自然を活かした体験型学習プログラム」のように、地域性や活動内容を明確にすることで興味を引きつけやすくなります。
 - **スケジュール：**寄付募集期間と事業実施期間は、募集要項の指定に合わせて正確に記入してください。
 - **助成申請額：**寄付で集めたい目標金額を記入してください。
 - **事業の種別：**該当するものにチェックを忘れずに入れてください。

信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム 申請事業の実施計画

※記載内容は、公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」に掲載します。

(1項目あたり200～400字程度が目安です。)

1. こんな団体です(活動目的や経過など)

特定非営利活動法人信州みらい教育プロジェクトは、「子どもたちの多様な学びの場を創造し、未来を生きる力を育む」ことを目的に、2018年に設立されました。私たちは、長野県の豊かな自然環境を最大限に活かし、子どもたちが自ら考え、行動する力を育む体験学習プログラムを提供しています。これまで延べ1,500名以上の子どもたちが私たちのプログラムに参加し、自然の中でのびのびと学び、主体性や協調性を育んできました。特に、学校に行きづらい子どもたちへの個別支援にも力を入れ、彼らが安心して参加できる「第三の居場所」を提供しています。地域のNPO団体や自治体との連携も深め、地域全体で子どもたちの成長を支えるネットワークづくりにも貢献しています。

【作成アドバイス】

- **団体の理念と実績：** まず、皆さんの「活動目的」を明確に伝え、読者に共感を促しましょう。そして、これまでの「活動実績」や「具体的な数字(例：延べ1,500名以上の子どもたちが参加)」を示すことで、団体の信頼性を高めます。
- **読者へのメッセージ：** ただ活動を羅列するだけでなく、「なぜこの活動をしているのか」「この活動が社会にどう貢献しているのか」という団体の想いを言葉にすることで、寄付者の心を動かすことができます。特に、困っている子どもたちへの支援など、具体的な対象者等を挙げることで、より具体的な活動のイメージを持ってもらえます。

2. こんな特色ある学びを行っています

当団体が提供する学びの最大の特色は、五感をフル活用する「体験型・探究型学習」です。信州の雄大な里山をフィールドに、専門の指導員が子どもたちの尽きない好奇心を刺激し、自ら課題を見つけ、解決するプロセスを重視しています。

例えば、季節ごとの植物観察や昆虫採集では、図鑑だけでは決して得られない「生きた知識」を全身で吸収します。地元農家の方々と協力する田植えや稲刈り、野菜の収穫体験では、食の循環や地域の文化を肌で感じ、感謝の心を育みます。清流での水生生物観察では、小さな命の営みから生態系の奥深さを学び、冬の森では、動物の足跡探しや間伐材を使った工作を通じて、雪国の自然との共生を考えます。

これらの活動は、子どもたちの知的好奇心を高めるだけでなく、生き物や命を学ぶことでこれからの社会をより良くしていくために必要なことを考えること、また仲間と一緒にコミュニケーションしながら学ぶことを大事にして、プログラムを構築しています。子どもたちは、大自然の中で失敗を恐れず挑戦し、成功体験を積み重ねることで、大きな自信と生きる力を育んでいます。

【作成アドバイス】

- **具体的な活動内容や独自性：** 他の団体にはない、皆さんの活動の「独自性」や「強み」を具体的に表現しましょう。どのような場所で、どのような方法で、子どもたちが何を学ぶのかを、具体的なエピソードや例を交えて説明すると、読者も活動をイメージしやすくなります。
- **活動の「効果」：** 単に活動内容を説明するだけでなく、それが子どもたちにどのような良い影響を与えているのか(例：主体性、協調性、問題解決能力の向上など)を明確に伝えることで、寄付の価値を感じてもらえます。

3. これから予定する具体的な取り組み内容（いつ頃、どんなことをしたいのか）

2027 年 4 月から 2028 年 3 月にかけて、信州の四季折々の自然を満喫できる「里山キッズ探検隊」プログラムを月 1 回のペースで実施します。

- 春（4 月～6 月）：新緑の里山で野草の秘密を探る！
地元の植物専門家を招き、里山に自生する野草の種類や効能について学び、採取した野草を使った簡単な調理体験を行います。
- 夏（7 月～9 月）：清流で水生生物と触れ合う！
透明な清流での水生生物観察や、簡易なダム作りを通じて、水の循環や生態系の仕組みを学びます。
- 秋（10 月～12 月）：実りの秋を五感で味わう！
地元農家でリンゴやキノコの収穫体験を行い、地域住民との交流を深める収穫祭を開催。収穫物の加工体験も行います。
- 冬（1 月～3 月）：雪の森で動物の足跡を追いかける！
雪上での動物の足跡探しや、間伐材を使った簡単な工作を通じて、雪国の生活や自然との共生について深く考えます。

各プログラムでは、参加する子どもたちの年齢や興味に応じた内容を提供し、一人ひとりの学びを深めるための個別指導も充実させていきます。

【作成アドバイス】

- **具体性と計画性：** 今後の活動予定を、時期と内容を明確にして具体的に記述しましょう。計画性が伝わることで、信頼度が向上します。
- **具体的なイメージ：** 「何を」「いつ」「どこで」行うのか、読者が具体的にイメージできるよう記述してください。季節ごとのプログラム内容を箇条書きで示すなど、分かりやすく整理するのも効果的です。
- **子どもたちの体験：** プログラムを通じて、子どもたちが具体的にどのような体験をし、何を学ぶのかを想像できるような表現を心がけましょう。

4. あなたの寄付でできること（どのくらいの寄付で、どのようなことが実現できるか）

皆様からの温かいご寄付は、子どもたちの豊かな学びの機会を創出し、彼らの未来を拓くために大切に活用させていただきます。

- **5,000 円のご寄付で：** プログラムで使用する学習用具（双眼鏡、虫眼鏡、図鑑など）を 1 セット購入できます。子どもたちの「なぜ？」を追究する探究心を刺激します。
- **10,000 円のご寄付で：** 経済的な理由で参加が難しい子ども 1 人が、季節ごとの体験プログラム（年間 4 回）に無料で参加できます。すべての子どもに等しい学びの機会を提供します。
- **50,000 円のご寄付で：** 安全に活動を行うための緊急時用備品（救急箱、簡易テントなど）を充実させ、より安心できる活動環境を提供できます。

皆様のご支援が、子どもたちの笑顔と成長、そして未来の信州を担う子どもたちの学びの場づくりにつながります。ぜひ、私たちの活動にご賛同いただき、温かいご寄付をお願いいたします。

【作成アドバイス】

- **寄付の効果を「見える化」：** 「寄付金で何ができるのか」を具体的な金額と結びつけて示すことで、寄付者は自身の支援がどのような形で役立つのかを明確にイメージできます。これにより、寄付へのハードルが下がり、行動を促しやすくなります。
- **寄付者の「貢献実感」：** 寄付によって「子どもたちの〇〇を支援できる」「〇〇が実現できる」といったように、寄付者の行動がもたらすポジティブな影響を強調しましょう。

5. 応援よろしくお願いします (この事業に対する思いなど、団体からのメッセージ)

私たちは、信州の豊かな自然が持つ無限の可能性を信じ、子どもたちがその中で心身ともに健やかに成長できる場を提供したいと強く願っています。現代社会において、子どもたちが自然と触れ合う機会が減少していると言われますが、五感を使って自然を体験し、仲間と協力して課題を乗り越える経験は、彼らが将来を生き抜く上でかけがえのない財産となります。そして、このような学びのチャンスは、自然豊かな信州で生まれ育つ子どもたちだからこそ得られるものだと思います。

この「里山キッズ探検隊」プログラムは、単なる遊びではありません。それは、子どもたちが自らの可能性を広げ、困難に立ち向かう力を育む「学びと成長の場」です。子どもたちのキラキラとした笑顔と、体験を通じて一步ずつ成長していく姿が、私たちの最大の原動力です。

この助成プログラムを通じて、一人でも多くの子どもたちが信州の自然の中で学ぶことができ、「ここに生まれてよかった」と思える地域の実現に向けて、私たちは精一杯活動してまいります。皆様からの温かいご支援が、子どもたちの未来、そして信州の未来を照らす光となります。どうぞ、私たちの活動にご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【作成アドバイス】

- **情熱と感動の共有:** 皆さんの活動にかける「情熱」や「想い」をストレートに伝えましょう。寄付者の心を動かすのは、具体的な活動内容だけでなく、その背後にある皆さんの熱意です。
- **未来への展望:** 寄付によってどのような「未来」が実現できるのかを具体的に語ることで、寄付者は自身の支援がより大きな意義を持つことを実感できます。

6. 寄付金獲得方針

当法人では、公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」を中心に、貴団体の寄付募集を支援します。貴団体ではこの助成プログラムを活用し、具体的に行動計画を立てた上で、寄付募集活動を行ってください。

(例) ○○事務所、○○作業所に募金箱を設置。

○○月に開催するイベントでチラシを配布し、寄付を呼びかける。

(注：募金箱など、貴団体で独自に集めた寄付に報告義務はありません。)

寄付募集活動の方法

① 地域イベントでの積極的な広報

地域のイベントやマルシェにブースを出展し、事業内容を直接ご紹介しながら寄付を呼びかけます。(例：2026年5月「信州環境フェア」、2026年9月「里山祭り」にて活動紹介と募金箱設置)

② オンラインでの継続的な情報発信

当法人のSNS (Facebook, Instagram) や公式ウェブサイトにて、定期的に事業進捗や子どもたちの活動の様子を発信し、オンラインでの寄付を募ります。視覚的な情報も積極的に活用し、活動の魅力を伝えます。

③ 地域協力店との連携

地元のカフェや商店に協力を依頼し、チラシ設置と募金箱の設置を行います。(例：○○カフェ、○○書店にて実施)

【作成アドバイス】

- **多様なアプローチ：** 寄付獲得のための具体的な戦略を複数提示することで、計画性があることを示せます。オンラインとオフラインの両面からアプローチすることで、より多くの層にリーチできることをアピールしましょう。
- **具体的な行動：** 「募金箱を設置」「チラシを配布し、寄付を呼びかける」といった具体的な行動を明記することで、説得力が増します。

7. 寄付者及び社会に対する事業報告の方法

寄付募集活動及び事業実施後、公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」以外に、貴団体独自に事業の報告を行う用意があれば記入してください。

(例) 自団体のホームページ、広報誌等に記載。

寄付募集活動を行ったイベント、事業等の中で報告。

① 公式ウェブサイトおよび年次活動報告書での詳細報告

当法人の公式ウェブサイトにて、活動報告 (写真、参加者の声を含む)、収支報告、寄付者様一覧 (掲載希望者のみ) を詳細に掲載します。また、年次活動報告書を発行し、広く公開いたします。

② 動報告会の実施

年1回、活動報告会 (オンライン開催も検討) を実施し、寄付者様や関係者の皆様を招き、事業の成果と今後の展望について直接ご報告させていただきます。

③ 地域メディアへの情報提供

地域の広報誌やケーブルテレビ等のメディアに、活動内容のプレスリリースを配布し、地域住民へ広く周知することで、皆様のご支援が地域貢献に繋がっていることをお伝えします。

【作成アドバイス】

- **透明性と信頼性：** 寄付金がどのように使われ、どのような成果が出たのかを明確に報告することは、寄付者との信頼関係を築く上で最も重要です。「どこで、どのように報告するのか」を具体的に示すことで、寄付者は安心して支援できます。
- **多角的な報告：** ウェブサイト、報告会、地域メディアなど、複数の方法で報告することで、より多くの人に活動の成果を伝えることができます。写真や動画を活用するなど、視覚に訴える工夫も効果的です。